

もえぎ

3

Vol334

2020/3.15

小 幡 加 寿 さん書



医療法人社団萌気会

在宅療養支援診療所 (二日町)

在宅療養支援有床診療所 (浦佐)



三国街道塩沢宿ひな雪見かざり
今泉記念館 平安雛

2P…萌気園浦佐診療所入院病棟の閉鎖
そして新たなサービスのスタート
3P…かんたき萌気 コム・ソフィ&ナース
フィソロフィー (哲学) を語る会
4P…漫画 黒岩卓夫一代記
5P…いろりを囲む会
6P…肉 (29) の日だよ カレーパーティー
7P…魚沼に、もっとワクワクを。
8P…呼吸器内科診療のお知らせ

行事予定
(3月15日～4月14日)
3月22日(日) びしゃもん茶房
(10時～12時)
3月27日(金) 浦佐認定こども園
卒園式

新型コロナ警報 2020.3.10

- ① かぜにかからない自分の養生をして下さい。
- ② 家族の健康もお互いに注意しましょう。
- ③ 村や街の情報を大事にしましょう。
- ④ 手洗い、うがい、十分な野菜、そして睡眠を大切に。
- ⑤ 萌気会は万全を期しています。

ただ、熱と咳のかたは注意して下さい。

理事長 黒岩卓夫



萌気園浦佐診療所入院病棟の閉鎖 そして新たなサービスのスタート

萌気園浦佐診療所 院長
黒 岩 巖 志



萌気園浦佐診療所は1992年に南魚沼市浦佐本町で無床診療所として開院しました。2013年6月に浦佐本町から浦佐天王町に新築移転する際に無床診療所から9床の入院病床を有する有床診療所に生まれ変わりました。以後入院病床は、在宅患者や外来患者の容体悪化時、家族の介護疲れ軽減目的(レスパイト入院)、近隣の病院で急性期の治療を終えた方の在宅復帰へのワンクッション目的、在宅患者の看取り目的、などで利用されてきました。

全国的に地方における医師・看護師不足は深刻で、萌気会でも以前から大きな懸念事項となっておりました。医師・看護師確保のためあらゆる手立てを尽くしましたが叶わず、残念ながら**2020年3月31日をもちまして萌気園浦佐診療所入院病棟を閉鎖することとなりました**。外来診療は今まで通り変わりなく行います。入院が必要な方へは適切な医療機関をご紹介します。

入院病棟である萌気園浦佐診療所2階フロアは2020年6月から「**小規模多機能型居宅介護(略称:しょうたき)**」という介護サービス事業所として再スタートを切る予定です。ここでは、いわゆるデイサービスである日中のみの「**通い**」サービス、夜間の家族介護が困難な場合の「**泊まり**」サービス、自宅に居ながら生活介助を受けられる「**訪問介護(ホームヘルプ)**」

サービスの3種類の介護サービスを受けることができます。本人の生活能力や家族の介護力により、「**通い**」、「**泊まり**」、「**訪問介護**」の3つのサービスをその方に適した希望通りのバランスで利用することができるため在宅生活を維持するうえで大変便利です。また、看護師を配置しますので介護サービス事業所ではありますが医療ニーズがある方への医療処置などは看護師が対応します。同じ2階のフロアには診療所院長である私の部屋があり必要に応じて診察を行なえます。看護師だけではなく**医師も居る介護事業所**と言っても過言ではありません。現在南魚沼市内には6つの「しょうたき」事業所が存在します。旧塩沢地区に3つ、旧六日町地区に3つあり、旧大和地区には1つもありません。「しょうたき」は地域密着型サービスといって南魚沼市民じゃないと利用できません。また送迎の関係で原則車15分圏内在住の方しか利用ができません。現在1つもない旧大和地区に「しょうたき」ができるのには大きな意義があるのです。もし利用を希望される方は担当のケアマネージャーさんにご相談ください。

入院病棟の閉鎖により地域住民の皆様には多大なご迷惑をお掛けすることになり大変申し訳ございません。「しょうたき」として地域に根差したサービスを継続しますので今後ともどうぞご支援をよろしくお願いいたします。

入院病棟 → しょうたき



コム・ソフィ&ナースのソフィはフィロソフィ（哲学）を略した言葉で、当事業所ではフィロソフィ（哲学）を大切にしています。哲学 = 生きる態度という事で、高齢者の皆さんの人生経験を語ってもらい、職員が人の心や礼儀を育む機会となるように哲学（人生）を語る会を開催しています。今年度第3回の語る会でのYさんの人生経験をご紹介します。

<子供のころの思い出を語ってください>

- ・五十沢の山奥で生まれて、家は百姓ばかりしていた。小さい頃から運動神経が良くって、4年か5年の時に走りて郡2位になった。6年の時と卒業の時に、村長賞をもらったねえ。高等科を卒業して2年くらいして、猿も住まない村長の家（舞台）へ嫁にいった。

<嫁に行った時はどうでしたか>

- ・村長の妻は早くに亡くなっていたので姑はいなくて、村長はすべて私に教えてくれて、一家の家計を任された。亭主は不愛想で酒飲みで村でも有名だった。10歳も年上の小姑が居たので、一家の家計を任されていた私は憎まれ、いじめられたよ。
- ・食糧危機があつて、米のない人たちが家に集まってきた。22歳の頃は私が米を渡した。亭主はそういうことは全くなかったの、自分がしたよ。子供が3人生まれ、多いと怒られた。

<どんな仕事していたのですか>

- ・山の中で7反部の田んぼをしていた。世の中は登山ブームで、中ノ岳の入り口に家があったもんだから、無料で登山客を泊めていた。自分で作った野菜や米を提供してね。役場から「ただじゃだめだ、ちょっと金をとってくれ」と言われて、ちょっととったら、安すぎて旅館組合から苦情がでた。訓練校に行つて調理師の免許も取ったよ。立派な民宿になり、お弁当もうまくて有名になった。

<その他思い出話はありますか>

- ・亭主がなんたら酒飲んでばかりいて、車の運転免許でも取らせようと思ったら、なんと私の名前で申し込んだ。教習所の人が「明後日から来てください」と・・・家には車はないのに、「免許取ったら、教習所と同じ車（セドリック）を買ってやる」と言われて行くことになった。その頃、教習所には、女しよは私と六日町の18歳の人だけだった。行ってみたらすごく楽しくて、生涯で一番充実していたのはこの頃だったかな。教習所の教官に「おかーさん相当無免許運転したでしょう?」と言われた。「おらしよは車なんて持ってねーぜ、なんで?」と答えると「普通女しよは最初はハンドルを持つとブルブル震えるもんだけど、おかーさんは全然震えず平気で乗っている!」てね。そんで38歳で免許がとれた。女性第1号。女しよでも免許がとれたって、みんな免許をとり始めた。おかげで色んな人と付き合つて勉強になったけど、みんな忘れた。免許とったら、買ってくれる約束だった車は、セドリックじゃなく日産の中古車だった。その頃には、私の嫁の座もしっかりしていたよ。

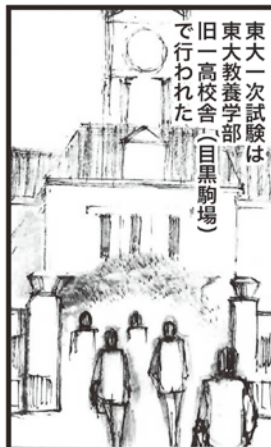
<今の生活はいかがですか>

- ・世の中も怖くない平和な世になって幸せだよ。

今回はYさんの人生経験を掲載しました。語る会を重ねて思う事は、哲学と言っても決して難しい話をする必要はないという事です。その人の人生イコール哲学であると思います。これからも利用者の皆さんに人生を語って頂き、哲学を学ぶ機会にしていきたいと思います。

第三十五話

試験



いよいよ天王山を奪えるか。卓夫少年にとっては天下の分かれ目だった。

東大の校舎は教養課程（前2年間）は、旧一高校舎、駒場（渋谷に近い）にあった。本体は本郷になる。赤門は本郷校舎、医学部本館への門となっている。信州の山村、松本の高校、そして東京へ上れるか？この二次試験に受かって東大生になり、2年後医学部の選抜試験（他大学からも受けられる）に合格してやっとな医学生になれる。



萌気会恒例 ～第13回～ いろいろを囲む会

萌気園大和通所介護「地蔵の湯」井口 英文



2月13日、今回で13回目となるいろいろの会が、大和通所介護「地蔵の湯」で開催されました。「地蔵の湯」は古民家の建物と温泉そして美味しい食事が自慢です。

毎年この時期に行われるいろいろの会は、いろいろの鍋を囲んで、黒岩卓夫理事長のお話を聞きながら、職員との交流を深める場です。

黒岩卓夫理事長、黒岩巖志院長、黒岩秩子さんをはじめ各事業所より20名ほどの参加があり、いろいろの鍋とお手製のケーキやたくさんのご馳走を食べながらの会となりました。今回は多くの方がお酒を飲まれ、参加者の自己紹介では活発な会話が飛び交い、あっという間の2時間が過ぎてしまいました。参加した方からは楽しかったとの声が聞かれ、ほっとしています。黒岩卓夫理事長も美味しそうにお酒を飲みながら参加者の話に聞き入っておられ、大盛況に終わりました。



地蔵の湯恒例

裸押合大祭

萌気園大和通所介護「地蔵の湯」
所長 栗原 哲也



例年3月3日に「越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭」が開かれていました。

今年から3月の第一土曜日ということになり、3月7日に開催予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響を受け自粛を余儀なくされ、今年是一般水行等が中止となりました。萌気会からも毎年男性職員が参加をしていました。また、萌気100年プロジェクトでお世話になっている㈱電通、㈱電通東日本様の職員が20名程で参加していただける予定でした。日本三大奇祭の一つであり「記録作成等の措置をすべき無形の民族文化財」に選択された、約1200年の歴史を持つ「越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭」に県外の方々が参加していただけることに感謝し、例年以上に食事や飲み物の準備に力を入れていましたが、今年は断念せざるを得ませんでした。

その分、毎年恒例の「地蔵の湯裸押合大祭」を盛大に行いました。

早く新型コロナウイルスが終息し平穏な日常に戻り、来年越後浦佐毘沙門堂裸押合大祭が活気に満ちあふれることを願っております。

肉(29)の日だよ カレーパーティー

萌気園通所リハビリセンター浦佐

リハビリセンターでは2月29日、「4年に一度の肉(29)の日だよ、カレーパーティー」をしました。

右片麻痺の南雲恵子さんは、専用のまな板を持参し手伝っていただきました。

運動中のカレーの匂いが、運動の励みとなり食欲がそそられました。

作ったのは、シーフードカレーでしたけど(笑)。



南雲恵子さん



春日ハルイさん

百寿おめでとう

いつも温かな心で家族を守り
地域のために力を尽くして下さい
感謝の気持ちでいっぱいです
これからもお元気で
幸せの花咲く素敵な日々を
お過ごし下さい

萌気園大和通所介護「地蔵の湯」職員一同

私たち萌気会グループは、
地域でいちばん身近な存在として
魚沼という地を、楽しさと生きがいに満ちた魅力溢れる場にしたい。

これまで以上に、子どもからお年寄りまで、
この地域にくらす一人ひとりの夢と誇りを育んでいきます。
人と人、人と地域をつなげ、魚沼に、もっとワクワクを。

新規プロジェクト始動

次年度より職員による「100年続く
萌気会」に向けた新規プロジェクトを
順次実行して行きます。

今後とも萌気会グループに
ご期待ください。

大嶋シン様（コム・ソフィ&ナース利用者）



「コム・ソフィを利用されていかがですか？」

「気軽でいいですよ。歌を聴いたり…。演芸がもうちょっとあると良いんだけど、私は踊りを観たりするのが好きなの。」

「そーなんですね、もっと演芸をして下さる人を探してみますね。」

「あとはね、1か月に1回かな？1週間ほどここ（コム・ソフィ）に泊まるんだけど、一緒に泊まる人が顔見知りだったりすると嬉しいて、話も合う人がいるとなおさらいいて。でも、やっぱりお母さんやお父さんの居る家にいるのがいちばんだて。住み慣れた家がいいよ。」

「これからもコム・ソフィで沢山楽しんで行きましょね。宜しくお願いします。」

「そうなの。こちらこそよろしくお願いします。」

終始笑顔で話して下さったシンさん。演芸や歌を鑑賞することが好きな方です。
これからも沢山の笑顔を見せて下さいね。

<コム・ソフィ&ナース職員>

萌気園小規模多機能ホーム

さくりの郷

定員 29 名 通所 15 名 宿泊 9 名

ご利用者さんに対し「気まま、そのまま、ありのまま」「困った
ときはお互い様」を基本に関わっています。

通いを中心として、利用者さんの様態や希望に応じて、随時訪問
や宿泊を組み合わせたサービスを提供しています。



毎年恒例の運動会や親睦会
（今年は総勢 50 名で賑やかに
行いました）お蕎麦やマクドナ
ルドといった外食。地域のお
祭りや芸能文化祭、お祝い事
にもお邪魔しています。
「段ボール積」や「玉飛ばし」
といった趣向を凝らしたレクリ
エーションで楽しい日々を演出
いたします。

呼吸器内科診療のお知らせ

令和2年4月18日(土)より、下記の通り毎月1回
萌気園診療所にて堀内正先生の内科診療を開始いたします。

診療内容: 呼吸器内科

診療日: 月1回土曜日 4月は4月18日です。

(5月以降の診療日は第4土曜日です。)

	診療時間	診療場所
午前	8:30~12:00	浦佐診療所
午後	2:00~4:30	二日町診療所

医療法人社団萌気会

○萌気園浦佐診療所

電話 025-777-5222

○萌気園二日町診療所

電話 025-778-0088

診療の際は4月1日以降、事前に電話で予約をお願いいたします。



萌気園浦佐診療所 2F病棟再編のお知らせ

2020年3月31日をもって、萌気園浦佐診療所2F病棟を一時閉鎖させていただきます。

6月1日より2Fは「小規模多機能型居宅介護」(しょうたぎ)に転換し病床は1床だけ残すことになりました。病床は、在宅訪問診療を受けられている患者様の支援ベッドとして生まれ変わります。

今までと形は変わりますが、在宅支援を継続して参りますので、今後とも宜しくお願いいたします。

萌気園浦佐診療所 2F 病棟 職員一同



編集後記

ハイマートハイム・島田 伊藤 広子

今年度最後のもえぎ新聞をお届けします。

今年度も、もえぎ新聞をご覧いただきありがとうございました。又取材に快くご協力いただいた皆様にはこの場を借りてあらためてお礼を申し上げます。「もえぎ新聞に載せてくれてありがとう。大事に保存してあります」

「親戚みんなで読んだよ」「面白かった」などお声を掛けていただくと本当にうれしい気持ちになります。ありがとうございます。

今号は今泉記念館のお雛様を表紙に、コム・ソフィ & ナースで開催された哲学を語る会、にく(29)の日

リハビリセンター浦佐でのカレー作りのなどの様子を掲載しました。

春は、転勤・異動・入社・退職・お引越など、ご自身の環境が大なり小なり移り変わっていく方が多いのではないのでしょうか。

終わりと始まりに喜び・悲しみ・期待・寂しさ...いろいろなお気持ちを胸に抱かれつつ、新たな季節を迎えられることと思います。

そんな時こそ人生の先輩に聞かせていただいた「哲学」を胸に、「楽しむ」気持ちで「ワクワク」しながら前に進んでいけたら良いと思う今日この頃です。